

弁護士が開発したデジタル文書活用ツール『弁護革命』、 弁護士の思考を拡張する「AI エージェント機能(β 版)」をリリース ～1000 ファイルの事件記録から 1 分で事案を理解する AI※1 で、 次世代の弁護士業務を創出～

弁護士ドットコム株式会社（東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO・弁護士：元榮 太一郎、以下当社）が提供する弁護士のためのデジタル文書活用ツール『弁護革命』は、弁護士業務のコアリソースである事件記録※2 から必要な情報を自律的に探し出し、読み取り・分析までを遂行する「AI エージェント機能(β 版)」をリリースいたしました。

事件記録を元にしたリサーチや分析は弁護士実務の主戦場である一方で、その膨大な分量ゆえに、弁護士業務のボトルネックになっているのが実情です。

2026 年 5 月の改正民事訴訟法全面施行により、日本の民事裁判は全面的なデジタル運用へと移行します。社会の AX と弁護士業務のデジタル転換とが並走するこの局面において、事件記録の管理基盤である『弁護革命』に高度な AI 機能を連結し、弁護士業務のアップグレードの実現を目指します。

※1 ユーザーヒアリング及びサンプルデータに対して概要説明の指示をおこなう動作検証で得られた評価の一例です。常に 1 分で完全な結果を返すことを保証するものではありません。

※2 事件記録とは、弁護士が担当する案件に関する資料一式（紙・電子データ）を指し、依頼者から受領した資料や裁判所への提出文書、証拠等を含みます。

弁護士ドットコム

■ 開発の背景・意図：AI が弁護士を強化する

弁護士の実務において、情報の検索・読解と、判断・文書作成とは、相互に行き来しながら進む一体の思考プロセスです。資料を読む中で問題に気づき、考え、問題を検討する中でまた新たに読むべき資料が見える——自律的な判断ができるエージェント型の AI を用いることで、このサイクルを弁護士が AI と深く高速におこなえるようになります。これにより、弁護士は AI によって思考を強化され、アクセスできる情報の量・思考の深さ・幅が、従来の限界を超えて広がります。

本機能により、弁護士が資料読みに費やしていた膨大な時間が短縮されることはもちろん、弁護士の専門家としての判断力・遂行力をより高めることで、法律事務所の経営基盤の強化と、依頼者の利益実現の促進を実現します。

■ 『弁護革命』の「AI エージェント機能(β 版)」とは

AI が人間の指示を柔軟に解釈し、『弁護革命』に保存された事件記録を自律的に検索、読み取って判断をおこない、応答します。単純な要約、資料探索にとどまらず、争点整理や証拠評価といった業務のコアに属する指示にもパフォーマンスを発揮します。

<「AI エージェント機能(β 版)」の特徴>

1.AI が自ら考えて記録を読み解く

『弁護革命』の AI エージェントは、『弁護革命』内に保存されたファイルを自分で検索することができます。ユーザーがいちいちファイルを与えたり、細かな文脈を補充しなくても、適切な資料を AI エージェントが発見して判断することが可能になります

AI Agent(β) +新規

←文書DBに戻る 原告太郎XX事件

争点を整理して

争点整理を行います。まず、訴状や答弁書、準備書面など主張関連文書を検索して全体像を把握します。
文書検索 完了
主要な主張書面を読み取ります。
文書読み取り 完了
訴状（[訴状](#)）、答弁書（[答弁書（被告）](#)）、両当事者の準備書面（[原告主張書面 原告準備書面](#)、[被告主張書面 被告準備書面](#)）を確認しましたので、争点を整理いたします。
【事案の概要】

- 原告：X（元従業員・営業職）
- 被告：株式会社Y（不動産売買・仲介業）
- 雇用期間：令和4年4月1日～令和5年4月15日解雇
- 解雇理由（被告主張）：能力不足、無断欠勤

【原告の請求】

- 地位確認：労働契約上の地位にあることの確認
- 金銭請求：330万円および遅延損害金
 - 未払残業代：130万円
 - 慰謝料：200万円

【主要争点】**争点1：解雇の有効性**

メッセージを入力...

深く考える

1

訴状 × 答弁書（被告） ×

検索... 表示オプション 複製

訴状

p.1
訴 状令和6年●月●日東京地方裁判所 民事部 御中原告訴訟代理人弁護士 法務 太郎 印当事者の表示 別紙当事者目録記載のとおり請求の趣旨 1 原告が、被告に対し、労働契約上の権利を有する地位にあることを確認する。
2 被告は、原告に対し、金330万円(内訳：未払賃金、慰謝料)およびこれに対する訴状送達の日の日付から支払済みまで年3分の割合による金員を支払え。
3 訴訟費用は被告の負担とする。
との判決ならびに第2項について仮執行宣言を求める。
請求の原因第1 当事者 1 被告は、不動産の売買、仲介等を主たる業とする株式会社である。
2 原告は、令和4年4月1日、被告との間で、期間の定めのない労働契約を締結し、営業職として勤務していた者である(甲1)。
第2 本件解雇に至る経緯 1 専務取締役Zによるパワーハラスメント 原告は入社以来、真摯に業務に取り組んできたが、直属の上司である専務取締役Z(以下「Z」という)より、令和5年1月頃から、業務上の指導の範囲を逸脱した著しい暴言を繰り返されるようになった。
具体的には以下の通りである。
(1) 令和5年2月10日、営業会議の場において、Zは原告に対し、他の従業員がいる前で「お前のような無能は給料泥棒だ。
会社のお荷物だから今すぐ消えろ」と大声で怒鳴りつけた(甲2)。
(2) 令和5年3月5日、原告が目標未達の報告をした際、Zは原告の肩を強く突き飛ばし、「死んでしまえ」と発言した。

弁護士ドットコム

2.複雑な指示への「柔軟な対応力」

「要約して」などの定型処理にとどまらず、証拠を一覧にして整理したり、「相手方の準備書面の2通目以降の範囲で、売買代金について主張を変更した箇所を表形式でまとめて」などの、実務的で複雑な指示に対応することができます。

AI Agent(β)

＋新機能

＋文書DBに戻る

原告太郎XX事件

各証拠の詳細内容を確認

各証拠の詳細内容を確認します。まず、証拠号証（甲号証・乙号証）が付されている文書から読み取ります。
文章読み取り 完了
証拠号証が付された文書（甲号証6点、乙号証4点）の読み取りが完了しましたので、以下に整理して報告します。
■ 証拠の詳細内容一覧
原告側証拠（甲号証）

証拠番号	文書ID	タイトル	主な内容	立証趣旨
甲2	甲2 録音反訳書	録音反訳書	令和5年2月10日の営業会議で、Z専務が原告に対し「給料泥棒」「首吊ってる」「反吐が出る」「消える」等の暴言を浴びせた録音の反訳	バワハラの直接的証拠
甲3	甲3 診療録（カルテ）	診療録（カルテ）	こころの杜クリニックでの診療記録（3/11初診～4/20）。適応障害（F43.2）の診断、主因は「上司への恐怖」、1ヶ月の休養を要するとの診断書作成	精神疾患の発症と因果関係
甲5	甲5 メール履歴	メール履歴	Z専務から深夜23:42に送信された「種まきは100年後か」「寝ずに考える」「死ぬか働かどっちかにしろ」等の暴言メール	バワハラの常習性・時間外の執拗な追及
甲8	甲8 通知書（内容証明郵便）	通知書（内容証）	令和5年5月1日付、弁護士名義での請求通知。未払残業代200万5千円、慰謝料130万5千円合計330万5千円を請求	交渉の経緯

メッセージを入力...

深く考える

1

甲2 録音反訳書

検索...

表示オプション

p.1

【甲2号証】 録音反訳書(令和5年2月10日 営業会議における録音)反訳書●●● 録音日時： 令和5年2月10日 午前10時15分頃から約5分間録音場所： 被告会社 第1会議室話者：○ 甲(原告・X)○ 乙(被告専務・Z)○ 丙(他の営業社員・A)(00:00) 乙(専務)： ……で、今週の数字はこれだけか？ 先週、あれだけ言ったよな。
(00:05) 甲(原告)： はい、申し訳ありません。
あの、見込み客のリストアップは進めているのですが、アポイントの獲得が難航しておりまして……。
(00:12) 乙(専務)： (机を叩く大きな音) 乙(専務)： 言い訳なんかいらねえんだよ！ 難航してる？ お前のやり方が悪いからだろうが。
入社してもうすぐ1年だぞ？ いつまでお客様気分でいるつもりだ。
(00:25) 甲(原告)： すみません。
やり方を改善しようと、部長にも相談して……。
(00:30) 乙(専務)： 部長の時間まで奪ってるのか、お前は。
おい丙、お前こいつの動き見ててどう思う？ (00:38) 丙(社員)： えっ、あ、いや……。ま、真面目にはやっているとしますが……。
(00:43) 乙(専務)： 真面目な数字が出るはずだろ！ 結果が出ないのはサボってるのと同じなんだよ。
乙(専務)： おい甲、よく聞け。
お前、自分の給料いくら知ってるよな？ 若い連中より高い金もらって、成果は新卒以下。
こういうのを世間で何て言うか教えてやろうか？ (01:00) 甲(原告)： ……

3.正確で読みやすく、根拠のある出力でハルシネーションへの対策も

AI の回答は、事件記録内の記載に忠実となるように調整されており、ハルシネーションのリスクを低減させます。回答には根拠となる文書への「参照リンク」も付与され、クリック一つで原文と照合できるため、弁護士実務に求められる厳密な出典確認がスピーディにおこなえます。また、図表を用いた読みやすい出力も可能です。

<既存ユーザー様からの声（一部）>

この「AI エージェント機能(β 版)」を既存の弁護士ユーザー様にご使用いただきました。いただいた声の一部をご紹介します。

- 「数年分の約 1,300 ファイルを読み込んで、わずか 1 分で事案をまとめてくれて感動した」
- 「相談直前に、顧問先企業からハラスメントに関連した書類一式が送られてきたが、あっという間にまとめてくれて、事案の概要を把握できた」
- 「原告被告双方の主張の対比表を作ったうえで、反論がなされていない主張を明示的にしてくれたので、頭の整理ができた」

<セキュリティと信頼性への取り組み>

『弁護革命』の AI 機能は、機密性の高い事件情報を扱うことを前提に、万全なセキュリティ環境で利用できるよう設計されています。

弁護士ドットコム

本機能では、GCP Vertex AI 上でホストされる Gemini、または AWS Bedrock 上でホストされる Claude を内部で利用しています。外部プロバイダおよび当社において、入出力データが学習に利用されない体制を整備するとともに、データ保持の最小化、通信の暗号化、厳格なアクセス制御を行うことで、弁護士実務に耐えうる安全性を確保しています。

■『弁護革命』 開発者・弁護士 山本 了宣 コメント

「事件記録を『読み込む』作業は、弁護士業務の非常に重たい一角をなしてきました。単に時間がかかって大変というにとどまらず、弁護士が情報に足を絡め取られるといったところもあったと思います。

今回リリースした『AI エージェント機能(β 版)』は、少し昔に戻ってみれば、『魔法』のような機能です。時に膨大な量にもなる事件記録の情報が、わずかな時間で鮮やかに整理され、弁護士の判断を助けてくれます。結果として、弁護士の考える力がよりよく発揮されるようになります。

今後は、AI エージェントに本格的な法的知識を統合することを予定しています。事実と法律の両方を弁護士が手のひらに載せ、より高度な判断ができる世界を目指したいです。」

■デジタル文書活用ツール『弁護革命』とは

『弁護革命』は、弁護士が弁護士のために開発したデジタル文書活用ツールで、弁護士業務の DX・AX を推進し、法的サービスの質と効率を高めるサービスです。このサービスを活用することで、弁護士はデジタル化した事件記録の中で、訴訟実務に最適化された AI を利用し、専門家としての力を大きく高めることができます。

サービスサイト：<https://www.bengo-kakumei.jp/>

■弁護士ドットコムについて <https://corporate.bengo4.com/>

本社	東京都港区六本木四丁目 1 番 4 号 黒崎ビル
設立日	2005 年 7 月 4 日
代表者	代表取締役社長 兼 CEO・弁護士 元榮 太一郎
上場市場	東京証券取引所プライム市場
事業内容	「プロフェッショナル・テックで、次の常識をつくる。」をミッションとして、人々と専門家をつなぐポータルサイト「弁護士ドットコム」「税理士ドットコム」「BUSINESS LAWYERS」、契約マネジメントプラットフォーム「クラウドサイン」を提供。
URL	https://www.bengo4.com/corporate/

弁護士ドットコム

本件におけるお問合せ先

弁護士ドットコム株式会社 広報担当

所在地 | 〒106-0032 東京都港区六本木四丁目 1 番 4 号

T E L | 03-5549-2854

F A X | 03-5549-2565

E-Mail | info-press@bengo4.com